

第2回 神奈川県看護職員の確保及び資質向上推進委員会

日時：令和5年12月5日（火）

18：00～19：30

オンライン開催（Zoom）

1 開会

2 議事

（1）第8次神奈川県保健医療計画に係る目標値（案）について

3 閉会

資料

資料1 第8次神奈川県保健医療計画に係る目標値（案）について

資料2 特定行為研修修了者の就業者数の目標値（案）について

資料3 県内保健所及び市町村常勤自治体保健師数の目標値（案）について

参考資料

資料1 「神奈川県保健医療計画」素案（第8次 令和6年度～令和11年度）（案）

資料2 第7次保健医療計画（抜粋）

神奈川県看護職員の確保及び資質向上推進委員会 委員名簿

令和5年8月現在

(敬称略)

神奈川県看護協会（委員長）	会長	長野 広敬
神奈川県医師会	理事	高井 昌彦
神奈川県病院協会	理事	小澤 幸弘
神奈川県看護部長会	会長	本舘 教子
神奈川県看護師等養成機関連絡協議会	会長	岡本 明子
神奈川県訪問看護ステーション協議会	会長	鈴木 多加子
神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会	副会長	竹村 華織
横須賀市立うわまち病院	看護部長	伊藤 佳子
神奈川県立平塚看護大学校	校長	樋口 美佳

【事務局】

健康医療局医療課	保健医療人材担当課長	松谷 尚彦
	課長代理 (保健人材担当)	藤内 陽子
	人材確保グループ 副技幹	天下井 深雪
	人材確保グループ 主査	川堰 幸恵
	人材確保グループ 主査	川本 哲哉
	人材確保グループ 主査	鉢呂 麻里子
	人材確保グループ 主事	萩原 理世
	人材確保グループ 主事	木村 啓太
健康医療局健康増進課	健康づくりグループ 技幹	関野 有貴子

神奈川県議会 令和5年第3回定例会(後半) 本会議答弁(令和5年12月1日)代表質問
神倉 寛明議員(自民党(秦野市)) → 黒岩 祐治知事による答弁

<質問>

医療の確保と働きやすい環境づくりについて

「地域全体で看護師を確保・育成する取組について」

県内には、看護師の確保・育成を、個々の病院の問題ではなく、地域の問題として考え、新たな取組を始めた医療機関もある。

このような取組が地域の多くの施設の間で進めば、看護師の経験の幅も広がり、高度医療から在宅医療、介護施設など、様々な場面に対応できるようになり、地域での人材確保が進むだけでなく、本人のキャリアアップや就業継続にもつながると考える。

そこで、急速な高齢化に対応し、医療と介護の連携をさらに強化するため、医療機関等が連携し、地域全体で看護師を確保・育成する取組を進めて行くべきと考えるが、見解を伺う。

<知事答弁>

超高齢化が進む中で、地域の医療提供体制を維持していくためには、急性期の医療から介護まで、幅広い領域に対応できる看護師の確保・育成が大変重要です。

県ではこうした看護師を「かながわ地域看護師」と名付け、令和3年度から医療関係団体と連携し、人材育成の仕組みづくりに向けた検討を行っています。

具体的には、病院や訪問看護ステーション、介護施設など、地域の様々な施設で看護師の人材交流を行う仕組みの構築を目指しています。

これにより、看護師が地域の多様な医療ニーズに対応できるようになるとともに、結婚や子育てなどの環境変化に応じて柔軟に働くことが可能となります。

一方、この取組を進めるには、多くの医療機関等に地域看護師の意義を理解いただき、人材交流に協力いただく必要があります。

また、実際の人材交流にあたっては、施設間で異なる給与や労働条件をどのように調整するかといった課題もあります。

そこで県では、この取組を今年度改定する「神奈川県保健医療計画」の中に位置付けるとともに、多くの地域や医療機関に参加いただけるよう、関係団体とも連携し広く呼びかけしていきます。

加えて、地域の医療機関等が人材交流にスムーズに取り組むことができるよう、先進事例の紹介や労務管理の調整方法のポイントなどをまとめた「地域看護師養成ガイド」を今年度中に作成します。

県では今後も、地域が一体となって、新たな時代に相応しい看護師を確保・育成できるよう、しっかりと支援を行ってまいります。

以上